

2018年4月9日

高速 POF 対応 AOC(アクティブ・オプティカル・ケーブル)を開発  
～8K 映像の活用シーンにフィットする選択肢を提供～

本多通信工業は、8K の超高精細映像の活用拡大に備え、既発表(2017 年 11 月)の石英光ファイバー対応の AOC(以下、石英タイプ)に加えて、高速 POF(プラスチック光ファイバー)対応の AOC(以下、POF タイプ)を新たに開発しました。当社は、10 ギガ高速伝送を実現する 4 種類の AOC により、広がる 8K 映像の活用シーンにフィットする選択肢をご提供します。

高速 POF は、光ファイバーの特長である高速・長距離伝送・EMI 性に加え、プラスチック特有の屈曲性/加工の容易性を有しており、今後、安全性を必要とする医療機器や、現場での引き回しが必要な宅内配線などへの活用が期待されています。

今回の POF タイプも石英タイプと同様に、角型/丸型コネクタの 2 種類とし、FA 検査装置、医療機器、放送機器、大型モニタなどの固有ニーズにお応えします。また、コネクタの形状は、石英・POF タイプとも共通ですので、同一装置で石英・POF タイプの双方が利用できます。これにより、装置の現場状況に合わせたケーブル仕様の選択が可能となります。

石英タイプはサンプルを出荷中、2018 年 10 月より量産開始します。また POF タイプは 2018 年 10 月よりサンプル出荷開始、量産は 2019 年の予定です。なお、これらを 4 月 18～20 日開催の医療機器展示会「Medtec Japan 2018」に出展します。当社では、AOC を「次代を担う新事業」と位置づけ、2020 年 10 億円への拡大を目指します。

◆POF タイプについて

- ・コネクタ部に内蔵された当社独自のコアデバイスにより、業界で初めて、石英光ファイバーと高速 POF 双方のアセンブリを可能としました
- ・最先端の光電変換モジュールを開発する東京大学発ベンチャーの先端フォトニクス株式会社(社長:宋学良、東京都目黒区)と、高容量・高速伝送ケーブル&ハーネスで放送・医療業界などから高い評価を得ている平河ヒューテック株式会社(社長:篠祐一、東京都品川区)と共同で開発しました

### ◆本商品の主な特徴

- ・光電複合ケーブルで接続機器への給電が可能
- ・光インターフェースで問題となるダストリスクを回避
- ・プラスチック光ファイバーと石英光ファイバーの2種類から選択可能
- ・角型は産業機器向けに多数の実績を持つ  
当社 HDR コネクタ形状を採用
- ・丸型は嵌合時に IPX7 の防水性を確保
- ・丸型の給電用電気コネクタ部は、信号用電気コネクタ部と独立しており、活線挿抜に対応



### ◆仕様

	角型 AOC	丸型 AOC
伝送速度	40Gbps(10Gbps×4ch)	80Gbps(10Gbps×8ch)
伝送形態	①双方向 2ch ②単方向 4ch	双方向 2ch + 単方向 4ch
伝送距離	最大 30m	最大 30m
コネクタ芯数	26 芯	28 芯(14 芯×2)
メタル伝送部	給電:12V/1A 制御信号:3 ペア	給電:12V/1A

- ◆お問合せ先 : 本多通信工業株式会社 営業企画グループ TEL:03-6853-7100